識者評論

日米協定とプルトニウム

米テキサス大准教授
アラン・クーパーマン

日本に使用済み核燃料の再処理を容認し、1988年7月17日に発効した日米原子力協定が30年の「満期」を迎える。協定は自動延長されるが、日本の原子力委員会は米国の圧力を受け、日本の保有プルトニウムを削減するため、混合酸化物（MOX）燃料にして軽水炉で消費する計画を加速する考えだ。

だがこの計画は、私が1年かけて行った調査から得た教訓とは相いれない。MOX燃料を過去に商業利用した7カ国について調べたが、うち5カ国が経済性や社会的受容性などを理由にMOX計画を断念していたのだ。

原子力委は問題の所在を正しく理解しているが、正しい解決策を示せていない。日本のプルトニウムは（近く1トンが追加され）計48トンになる見通しだが、これは5千発の核爆弾に相当する量だ。

2021年に使用済み核燃料再処理工場が稼働すれば、年間最大8トンのプルトニウムを生成できる。近隣諸国が「日本は核オプションを堅持しているので

間違った政策判断だ

は…」と心配するのも無理はなく、これらの国が同じような選択肢を取る恐れもある。

原子力委はプルトニウム削減のためにMOX燃料の活用を進める予定だが、それは以下の四つの理由で間違っている。まず稼働中の原発が足りず、そもそも実現不可能なのだ。MOX使用を予定する原発は約10基。うち現在、稼働可能なのは3基で、せいぜい年間1・5トンのプルトニウムしか消費できない。これは全体の3％の量にすぎず、国際社会の懸念解消にはあまりに遅いペースだ。

間違った政策である二つ目の理由は、この計画が逆効果をもたらす点だ。MOX利用を促進すれば再処理が始まり、抽出されたプルトニウムを燃料加工する工程が進む。日本の関係者はMOX事業を軌道に乗せるため「在庫プルトニウム」が手元に要るとしており、その量は最大40トン。そうなると、プルトニウムを減らすどころでなくなる。

三つ目の理由として、即効性のある代替手段の存在を挙げたい。日本のプルトニウムの約半分に当たる20トン超が英国で保管中だ。英国は日本がお金を払えば、これを引き取ってもいいとしている。この方法を選べば、日本は一夜にして全体量の約45％を減らせる。これはコスト節約にもなる。MOX燃料はウラン燃料よりも8倍も高いのだ。

最後に、日本国内にある約10トンのプルトニウムの問題を指摘したい。一部は高速増殖炉用に燃料加工されたが、廃炉が決まった。また一部のプルトニウムも燃料加工する手段がなく、ごみとして処分する技術を開発するしかない。日本は、40トンのプルトニウムをごみとして扱う予定の米国と連携するのがいい。

英国にプルトニウムを引き渡し、使い道のないものを処分すれば、日本はより身軽になれる。フランスにある約16トンのプルトニウムは同国でMOX燃料に加工し、日本に持ち帰って使えばいい。そうすれば、恐らく5年でプルトニウムをなくせるだろう。

そして将来的に使用済み燃料をごみとして処分すればいい。フランスを除き、MOX燃料を利用してきた国はそのようにしてきたのだから。

日本がひそかに「核オプション」を保持しているわけではないと仮定するなら、ここまで提言してきた方法で日本はプルトニウムを劇的に削減できる。そうではなく、原子力委の勧告に従いMOX利用を拡大するなら、日本国内のプルトニウムは増大し、近隣諸国も同じ方向へと動くだろう。

◇

Alan Kupermann
マサチューセッツ工科大で政治学の博士号。下院議員スタッフなどを経て現職。専門は核不拡散など。

自由の声

■運動兼ねて掃除を楽しむ

主婦 田中 郁子87（横浜市）

本紙の漫画「カンちゃん」（13日）を読みました。家中に掃除機をかけ、ガラス拭きをして、最後にカンちゃんの耳掃除までする。きれい好きなお母さんに感心しました。

私は、きれい好きというより体を動かすために階下の掃除を毎日しています。ただ、掃除機は数年前からコードレスに替えました。漫画のようなコード付き掃除機では重くて無理になりました。コードレスにしてから掃除が楽しくなりました。

掃除の後、ミニ床の間などをから拭きします。ダイニング・キッチン、そしてトイレなどは、重曹を入れた水で雑巾を絞ります。四つんばいになって雑巾がけを励行。これは普段使わない筋肉を動かすからでしょうか、気持ちがいいのです。

運動を兼ねた掃除。たまに出掛けたり、用事があって休むことがあります。独居ですが、一日休めば、かすかなほこりもたまるでしょう。地球の2周り半もあるという血管など、体内の動きにも影響するでしょう。

大ざっぱな掃除ですが、毎日できることに感謝して、スッキリ人生を歩んでいます。

から乗ってきた。男性はドア付近に居座ったまま動こうとしなかった。

数年前には、こんなことがあった。地下鉄あざいの人はいなかった。を利用しているので、車いすが邪魔で通れず困っていた。見かねた駅員が、ゲット、常識を持ち、他者に迷惑をかけない心掛けが必要だと私は思う。

変化球

品質管理備忘録お付けします
——日産ノート
（横須賀・そんな弘）

▽引用　本紙の新聞記事は掲載日、他紙は紙名も書いてください。書籍は書名のほか著者名も記してください。
▽読み仮名　地名、寺院など施設名、人名など難読字や複数の読みが考えられるものは仮名を添えてください。
▽実名が原則。二重投稿、採否の問い合わせはご遠慮ください。原稿、作品、写真などは返却しません。著作権は神奈川新聞社に帰属。投稿者本人の利用は妨げません。

投稿時のお願い

【訂正】3月31日の自由の声投稿者名で、「吉澤秋穂」は「吉澤明穂」の

私の1

「テッポウユリとアーティチョーク」
ユリの香りが広がって。手前にはアーティチョーク。6月19日、港の見える丘公園。
青木　多恵子69（横浜市）

われら同窓生

川崎市立渡田小学校
（昭和30年卒業）
「60年ぶりの集いが3年前。2回目の今回は、温泉旅行を楽しみました」
佐藤　正雄75（川崎市）